

NEWS RELEASE

札幌大学の
今を発信！

表面から続く 11/3 (日)～11/11 (月) 「スペシャルウィーク」を実施

プログラムには学生が教員とともに準備や運営を行っているものもあり、日頃学修、研究している「文化」を体験できる一週間になっています。今年度も文学研究、アイヌ文化体験、スポーツ文化研究など沢山のプログラムが用意されています。また、今回は一般社団法人札幌大学ウレシパクラブで行っている活動報告のイベント「ウレシパ・フェスタ」を連動して開催します。

なお、11月4日(月)14時から本学プレアホールにて実施の「ザ・北海道ベンチャーズ2013コンサート」は一般の方々も来場いただけます(入場無料)

【企画の一例】

- ・紅葉の札幌を歩く①八剣山登山
- ・伝統芸能鑑賞～歌舞伎・車曳きの段
- ・カルチャーショックを語る！
- ・日本語で遊ぼう！ ～この看板、読めるかな？
- ・桃太郎+スゴロク+あなた=？
- ・北海道の魅力の発見と活用を探ろう
- ・ロシア語でスピーチしてみよう
- ・アイヌ文化体験ツアー
- ・マンダラ塗り絵で自己表現

★他にも多数のプログラムがあります

【昨年のスペシャルウィークの風景】



「実践 北海道百人一首」



「ビブリオバトル」



「豆本を作ろう」

「北海道市町村長リレー講座 北海道を知ろう」第5回講座を開講 「島の元気は地域の力 ～島民と創るまちの活力～」

法学部では、11月7日(木)10時40分から、羽幌町の舟橋泰博町長をお迎えし、平成25年度第5回北海道市町村長リレー講座を開催します。

本講座は、法学部専門科目「自治行政特講」「自治原論」の授業において、北海道内市町村の首長による講演を年6回開催します。毎回、それぞれの自治体理念や実際の取り組みなどについて解説してもらうことで、「まちづくり」の現状と課題についての認識を深め、あわせて自治体職員や地域に根ざしたビジネスを目指す学生の職業選択のためのキャリアデザインに役立っています。平成18年から開催している本講座は今年で8年目を迎え、これまでに46回開催してきました。

今年度第5回目は、講師に舟橋泰博羽幌町長をお迎えし、「島の元気は地域の力 ～島民と創るまちの活力～」をテーマにお話をいただきます。道北の日本海側に位置する羽幌町は、天売島と焼尻島の島民700人が住む離島を有する町です。この2島は昭和の合併で羽幌町に編入し半世紀が過ぎました。過去からの変貌とこれからのまちづくりに果たす2島の役割を考えます。

一般の方々もご聴講できるように公開講座とします。受講料無料、事前申込は不要です。



主催：札幌大学法学部 協力：読売新聞社北海道支社 後援：北海道、北海道町村会、北海道市長会
●問い合わせ：札幌大学学生支援オフィス法学部 TEL:011-852-9128